

広報

ただみ

6
2025 月号

No. 661
令和7年6月10日



今月の表紙

【只見町消防団検閲式】

只見町消防団の春季検閲式での一枚です。
団員の服装や消防車両・積載物の点検等を行い、地域の安全安心に対する団員たちの意識の強化を図りました。（関連記事：P 5）

《特集》

「『自然首都・只見』伝承産品」とは
..... 2～3

只見線みんなで手をふろう条例10周年
..... 4

《News&flash》 5

《町の話》 6～7



— ブナと生きる雪と暮らす —

「『自然首都・只見』伝承産品」とは

只見町には多雪に育まれた豊かな自然環境と、その自然の恵みを受けた地域の人々の伝統的な生活や文化が息づいており、人と自然が共生するモデル地域である「ユネスコエコパーク」に登録されています。

「『自然首都・只見』伝承産品」とは、そんな只見町の自然と人との良好な関係が体现された地域ブランド産品です。原材料となるのは只見町産の天然資源や農産物で、昔ながらの知恵や技術を活用した産品が町の厳正な審査を経て認定されています。



今回新たに2つの産品が認証



今回、新たに認証されたのは希少なニホンミツバチが集めた蜂蜜である菊地武男さんの「百花蜜 日本ミツバチ」と、麴の原材料となる米まで全て只見町で生産された佐藤泉太さんの「甘酒」の2種類です。

「百花蜜 日本ミツバチ」について、ニホンミツバチは古来より養蜂に使われてきたハチですが、飼育が難しく、年1回程度しか採蜜出来ないという希少性の高い蜂蜜です。またほぼ単一の花から蜜を集めることができるセイヨウミツバチと違い、ニホンミツバチは多種多様な花から蜜を集めるため、その蜂蜜は「百花蜜」と呼ばれます。

平地でも2mを超える積雪がある只見町の長く厳しい冬を乗り越え、雪どけと共に活動を始めるミツバチ達が一生懸命集めた蜂蜜をご賞味ください。

「甘酒」は、飲料として親しまれる他、只見町ではニシンなどを使った伝統的な漬物にも重宝される生活になじみの深い発酵食品です。砂糖を使わず、麹菌がデンプンを分解して発生するブドウ糖によりつくり出されるやさしい甘みは絶品です。

一般には酒粕を原料とする甘酒もありますが、この甘酒に使われているのは米麴のみです。米麴の原料となる米も町内で生産されている自家製米を使用しているのでまさに100%只見産の甘酒です。アルコールを含まないのでご家族皆さんで楽しんでいただくことができます。

雪国の風土によって醸し出された味わい深い甘酒をぜひご賞味ください。



「『自然首都・只見』 伝承産品」

どの産品も只見町の自然と暮らしを感じていただける一品です。



●百花蜜 日本ミツバチ（菊地 武男） **NEW!**

●甘酒（佐藤 泉太） **NEW!**

●布沢の森のはちみつ「オオバボダイジュ」
「ハリギリ」「オオウラジロと春に咲く木の花」
（小林 長美）

●凍み大根（菊地 リツ）

●みんなでつくったはぜかけ米
（株）R I S E S A P E U R

●泉太のどぶろく「ブナの泉」「ブナの雫」
「ブナの煌めき」（佐藤 泉太）

●あめ（会津産業㈱）

●こくわジャム（会津産業㈱）

●まるごと山なしジャム（会津産業㈱）

●あめ（とちぼっこ）

●秘伝 青豆みそ（目黒麹店）

●じゅうねん油（株）げんき村

●じゅうねん巻き（株）げんき村

●ぜんまい綿毛糸のコースター
（つむぎや i k u k o）

●手紡ぎぜんまい綿毛のコースター（風光舎）

●マタタビ細工、ヒロロ細工（またたび屋）

●会津只見のつる細工（只見民芸品保存会）

●奥会津「明和」の手作り民芸品
（明和民芸品保存会）

●只見の木工製品（矢沢工芸）

●只見の純朴小盆（深沢木工）

●只見の純朴小皿（深沢木工）

●ククサカップ
（Zukku Design Wood Working）

●経木（奥会津経木製作所）

●自然な歪みのカレー皿（春木山プロジェクト）

●赤石（鉄石英）のアクセサリー（ピ・ピリカ）

●ぜんまい綿毛糸の製品「名刺入れ」「小物」
「マフラー」「半幅帯」（風光舎）

●只見の手毬「ストラップ」「ネックレス」
「結ゴム」「置物」「ピアス/イヤリング」
（ちよの会）

●～ただみの森から～手染ぶなの葉「手ぬぐい」
「巾着袋」「トートバック等」（ぶないろくらぶ）

●只見の仕事着型紙「ホソユッコギ」
「ダフユッコギ」（合同会社メーデルリーフ）

●小さな仕事着の壁飾り「シゴトシ」「ユッコギ」
（めいわ縫子さん）



▲ふるさと館田子倉やただみ・ブナと川のミュージアムなどで
ご購入いただけます

取扱施設や詳細については右記のQRコードよりご覧下さい。



「自然首都・只見」伝承産品への登録審査は、随時申請を受け付けています。

また、「自然首都・只見」伝承産品の製作支援や価値向上のための補助金申請も随時受け付けています。

詳しくは、ユネスコエコパーク推進係（0241-82-5963）までお問い合わせください。

只見線にみんな 手をふろう条例

10周年!



▲只見線に手をふる制定当時の保育所の子どもたち

▼臨時列車に手をふる皆さん



▼只見線に手をふる子どもたち



「只見町只見線にみんな
手をふろう条例」は平成27年
3月議会で可決されてから、
今年で10周年を迎えました。

この条例はJR只見線の列
車に手をふり、乗客へおもて
なしの気持ちを示し、只見線
への愛着を強め、力強く走る
只見線を応援することを目的
に制定されました。柳津町、
三島町、金山町、昭和村、新
潟県魚沼市でも制定され、沿
線一体となって応援してきま
した。

今では、地元の方に限らず、
多くの人が只見線に手をふっ
ています。また、手をふる他
に、手旗やしやぼん玉など
のおもてなしも行われていま
す。10周年を迎え、町でも皆
さんと一緒に只見線を盛り上
げていけるような企画を検討
していきます。

もっと応援したい方は、「只
見線利用促進事業補助金」が
あります。

この補助金は町民3人以上
で構成する団体であれば活用
いただけます。

たとえば：

- 只見線を利用した旅行での
列車運賃や施設入場料など
- 只見線をPRする活動のポ
スターやチラシの作成費な
ど

- 駅周辺の環境美化活動の消
耗品など

詳細は交流推進課観光交流
係までお問い合わせください。

■交流推進課観光交流係

☎ 82-5240

今号のP6-7の間に「おも
てなし手旗」があります。チラ
シや新聞紙を細く巻いたものな
どを芯棒にご用
意いただき、テ
ープやのりで貼
り付け、手旗と
して、只見線
のお出迎え時に
ご使用ください。



只見線にみんな 手をふろう!

地域に根付いた 自衛隊募集広報活動を行う 自衛官募集相談員委嘱式

只見町における自衛官募集相談員に鈴木高宏さん（只見）が委嘱され、委嘱状の交付が5月13日に行われました。式では鈴木高宏さんに自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所の佐藤所長と渡部町長から委嘱状が手渡されました。

鈴木さんは「外国からの侵略を未然に防ぐだけでなく、災害から国民を守るために活動している姿も伝えていきたい」と意気込みを話しました。



▲委嘱状を受取った鈴木さん

交流を深める

「ふるさと交流企画会議」開催

「令和7年度ふるさと交流企画会議」が5月15日に千葉県柏市役所で行われ、ふるさと交流都市の千葉県柏市と只見町の今年度交流事業について確認や調整が行われました。

会議では、昨年度に実施したふるさと交流都市提携30周年記念として実施した事業の報告や、今年度の両市町の主要事業の報告、柏まつりや只見ふるさと雪まつりなどのイベントへの相互参加の協力、学校給食の食材交換事業等についての確認が行われました。



▲今年は柏市を会場に開かれました

消防団員の士気を高める

「春季消防検閲式」実施

「令和7年度只見町春季消防検閲式」が4月27日に開催され、只見町消防団約120人が参加し、機械器具点検や水出し訓練などを行いました。

また、式では、団員の表彰も行われました。表彰者及び内容は次のとおりです。

○福島県消防表彰

▽精勤章 五十嵐敦彦

▽永年勤続章 吉津高弘、島谷裕彦、黒田信一、五十嵐貴則、五十嵐徹、渡部憲、渡部智和、吉津健、柳林一弥、齋藤聡、柳下勉、大竹信広、目黒五生、印南正和、山内浩二、菊地淳、山内喜伸、黒田晶子

○日本消防協会定例表彰

▽勤続章 鈴木高宏、目黒康弘、五十嵐淳、長谷川清之、渡部文彦、小沼守、滝沢清、吉津一博、目黒広信、横田登貴夫

○福島県消防協会長表彰

▽功績章 山内孝志

▽精勤章 渡部秀人、梁取麻緒、角田誠、佐藤雅幸



▲検閲式で行われた分列行進の様子

○福島県消防協会南会津支部表彰

▽功績章 五十嵐譲、渡部智和、酒井俊夫、山内隆行

▽優良章 鈴木聖、藤田修、山内豊、藤田喜嗣、藤田暁嗣、中澤清和、馬場大輔、目黒秀幸、皆川範仁、角田宏海、山内隼人、佐藤直樹、佐藤章博、馬場晃大

▽勤続章 藤田久幸、三瓶彰治、五十嵐亮、渡部圭、渡部賢史、渡部隆義、五十嵐順、酒井智也、馬場直幸、佐藤文隆、伏見正寛

○只見町消防団長表彰

▽優良賞 中野陽介、横田尚也

▽精勤章 渡部憲司、渡部公栄、角田裕一、山内太樹、渡部恵美

蒲生駅を春の只見町で彩る

吉田瑠美さん 蒲生駅にウォールペイント

映画「青春18×2 君へと続く道」の主人公アミの絵画を担当した画家で絵本作家の吉田瑠美さんが、会津蒲生駅の壁にウォールペイント（壁に絵を描くこと）を行いました。

吉田さんは昨年、只見中学校の生徒から「無人駅に絵を描いてほしい」と依頼され、『アミが見ていた只見町の景色』をテーマに会津塩沢駅にもウォールペイントを行っており、今回は第2弾として描かれました。

吉田さんは「只見町の雪解けとともに春が深まってく風景を見られて幸せな経験をさせていただいた。只見町の美しい風景を表現したい。人と人をつなぐ絵になってほしい」と話しました。



▲会津蒲生駅に描かれたウォールペイントと吉田さん

只見四名山シーズンイン

「要害山山開き」開催



▲安全祈願を行う登山者

只見四名山の一つである要害山が5月11日に山開きとなりました。また同日に出発式が行われ、渡部町長のあいさつの他、只見四名山の登山の安全祈願が行われました。

また山開き後に、登山をされた方には、インフォメーションセンターで登山バッジが配られました。なお、登山バッジは、四名山それぞれのデザインが用意されており、登山をされた方に先着で配布しています。（無くなり次第終了。会津朝日岳はいわなの里で配布。他三山はインフォメーションセンターで配布）

只見四名山山開き日

- | | | | |
|--------|----------|------|----------|
| ・要害山 | 5月11日(済) | ・蒲生岳 | 6月1日(中止) |
| ・会津朝日岳 | 6月8日(済) | ・朝日岳 | 6月22日 |



やまうち ゆい さん
山内 結華さん (大倉)



きつ ね あお さん
吉津 寧栞さん (福井)



さん へ こう た さん
三瓶 幸大くん (館ノ川)

むし歯のない子

(5月20日 3歳児検診)

赤勝て！白勝て！どっちも負けるな！

町内3小学校運動会 開催

町内3小学校で運動会が開催され、日頃の練習の成果を競いました。(5月10日：只見小、5月18日：朝日小、明和小) 短距離走や玉入れなどの競技の他に、借り物競争や宝拾いなどの保護者や参観に来た地域の方も参加する競技が行われ、児童だけでなく会場が一体となった運動会でした。

只見小学校



朝日小学校



明和小学校



町民文芸



只見短歌会

令和七年五月詠草

久々に逢ひし知人に名の出づなれど面立ち確かにありし

目黒 富子

深雪に春陽差し受く一輪の福寿草咲き輝きて見ゆ

関谷登美子

二歳児はシャボン玉追ひかけてゆく新緑の午後虹に輝ふ

立花 奏音

雨けぶる川辺の道に佇めば緑の映り霧も流るる

新国由紀子

タンポポの綿毛ふわりと舞ふさまは小雪のやふに窓に映りて

渡部ヨリ子

只見俳句会

五月定例会

姉妹旅藤花ゆれる金色堂
震災の海辺の町の桜かな

真理子

春雷に駆け込む姿哀れなり

睦子

人住まずつばめ飛びかう春さみし

恒夫

粽結う妻の指先見失う

ふきのとう喰うて東を見て笑う

礼

客を待つ居間開け放つ花日和

参道に入るやつらつら雪椿

一穂

春野菜嫁に教えて播く手順

初燕先祖の墓を一廻り

赤と黄の母の残せりチューリップ
すずらんや庭石の影ひっそりと

修一

雨あがる唐津の城や夏木立

信

神宮に勝利の歓声風青し

都

学生服衿元正す入学子

母がいる「おかえりなさい」桜モチ

味代子

棚雲やこれでいいかと掃き寄せて

花曇り夫の尺八うとうと

一恵

句友より四葉のクローバー差し出され

スッカナンボ折り取る先の故郷よ

今月のお知らせ

お知らせ

国立県営宮城障害者職業能力
開発校 令和7年度オープン
キャンパス開催

国立県営宮城障害者職業能力開
発校では、令和7年度オープンキャン
パスを次のとおり開催します。
なお、詳細については、ホームペー
ジに記載がありますので、お申込
前にご確認をお願いします。



【日時】

○第1回

令和7年7月19日(土)

電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課	町民税務係	☎82-5110
	生活安全係	☎82-5100
保健福祉課	保健係	☎84-7005
	福祉係	
成年後見センター		☎84-7010
農林建設課	農林係	☎82-5230
	建設係	☎82-5270
交流推進課	観光交流係	☎82-5240
	商工労働係	
ユネスコエコパーク推進係		☎82-5963
(ただみ・ブナと川のミュージアム内)		
会計室		☎82-5120
只見保育所		☎82-2219
認定こども園		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230

- ・午前の部9時受付
9時30分～11時40分
- ・午後の部13時受付
13時30分～15時40分

○第2回

令和7年10月4日(土)

※時間については、第1回同様

【場所】

宮城県仙台市青葉区台原5丁目
15-1 国立県営宮城障害者職
業能力開発校

【対象】

身体障害・知的障害・精神障
害・難病をお持ちの方や、そのご
家族、関係機関の方

【内容】

概要説明、施設見学(寮の見学
含む)、訓練体験、個別相談

【申込方法】

ホームページをご確認の上、電
話、FAX、メールでお申込みく
ださい。FAXとメールでのお申

込みの場合は、希望の日時、希望
の科、氏名、連絡先、お住まいの
市町村、参加人数、来校手段、配
慮事項(手話通訳、筆記通訳、移
動介助など)を記入の上、お申込
みください。

【問合せ及び申込先】

国立県営宮城障害者職業能力
開発校

☎ 022-2333-3124

FAX 022-2333-3125

メール: syokn@pref.miyagi.lg.jp



朝日診療所に 新たに三輪谷先生が着任しました

三輪谷博史医師が、6月1日より朝日
診療所医師として、着任されました。

自然が豊かで空気もキレイな只見町に
くることができてワクワクしています。
近隣と連携しながら、気軽に声をかけて
もらえるような医者を目指したいです。
些細な不調でも我慢をしないで、診察に
来てください。



三輪谷先生

税 今月の納期

6月25日までに

納めましょう

- 町県民税(1期)
- 水道使用料(1期)
- 農集排使用料(6月分)



ただみに来た人に 聞いてみた

只見町在住6年目

小菅 岳人 さん

ただみに来たきっかけ

を聞いてみた

父のツーリングがきっかけで、子どものころから家族で只見町を訪れていた。只見町という存在は知っていました。高校進学の際に只見高校の山村教育留學生の説明会に参加し、寮生活に魅力を感じて、只見高校に進学しました。卒業後の進路については、最初はスポーツトレーナーになろうと考えていました。そんな時に学校帰りの農道でふと見たいつもの日常の風景が、心に残って只見町に残ろうと思いました。

ただみでの暮らし

を聞いてみた

高校時代は新型コロナウイルスの流行と被ってしまっ、思っていたような生活を楽しめず、不完全燃焼で終わったような感じでした。寮生活は、朝も夜も温かいご飯を用意してもらえましたし、すごく美味しかったです。お昼はお弁当を届けてもらえました。夕食後は勉強をしたり、ゲームをしたり、筋トレをしたりしていました。卒業後は、自然に関わる仕事がしたいと思って、株式会社只見町観光公社に就職し、春から秋は奥会津ただみの森キャンプ場、冬は只見スキー場で働いています。やりたいことがたくさんあって、昨年は狩猟免許を取得しました。農

業もやってみたいと思い庭先で少し育ててみたり、町内の農家さんのお手伝いという形で経験させてもらったりしています。「やりたいことをやって生きる」というのが自分のモットーなんですけど、やりたいことに全力で生きています。

ただみで感じたこと

を聞いてみた

自然環境が良いという地域は他にもあると思うんですけど、人の良さと自然の良さがかけ合わさって、只見町はとても良い場所だなと感じています。

この素敵な場所でもまだまだ沢山経験したいこと、やりたいことがあるので応援よろしくお願いします。



町HP
移住体験談

小菅さんのお話をもっと詳しく知りたい、他の移住者の話をもっと聞きたい方は、パソコンやスマホのブラウザアプリから「只見町 移住体験談」で検索してください！

6月下旬～7月の

イベント情報

6月28日(土)、7月26日(土)

「民話茶屋」

只見町で語り継がれてきた昔ばなしを只見町昔ばなしの会の方々が只見弁で語ります。

【時間】午前10時30分～

【場所】ただみ・モノとくらしのミュージアム いろいろの間

【問合せ先】ただみ・モノとくらしのミュージアム
(TEL 0241-86-2175)

7月19日～8月11日の土・日・祝日

「風つこ只見線満喫号」

只見駅入線

只見駅に「風つこ只見線満喫号」が入線します。みんなの手を振ってお出迎えをしよう！

※参加者等を募るものではありませんので、都合のつく方でお出迎え(手振り)をお願いします。

【時間】午前11時57分(只見駅着) 午後0時48分(只見駅発)

【場所】JR只見駅

【問合せ先】只見町交流推進課
(TEL 0241-82-5240)

毎月火・土・日曜日

旧長谷部家住宅(叶津番所)

「火焚き」

茅葺屋根維持管理のために囲炉裏で薪を燃やす「火焚き」をご覧ください。予約不要です。

【時間】午前9時45分～

【場所】旧長谷部家住宅(叶津番所)

【問合せ先】只見町教育委員会

(TEL 0241-82-5320)

※編集時点においての開催予定になります。詳細は各問合せ先にご確認ください。

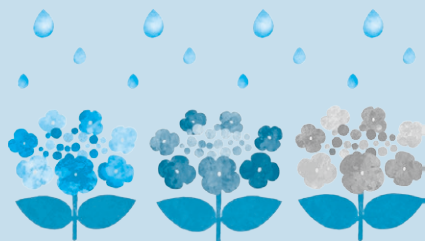


町民の消息

(4月26日～5月25日届出分)敬称略

■おくやみ申し上げます

大竹	マツエ	94歳	只見
吉津	淑子	83歳	黒谷
大塚	八重子	96歳	黒谷
菅家	ヤスエ	87歳	黒谷



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和7年5月1日現在

人	口	3,492 (±0)
男		1,737 (+6)
女		1,755 (-6)
世帯数		1,505 (+5)
高齢化率		48.6%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 22 転出 17 出生 0 死亡 5

▽只見線に手をふろう条例が10周年を迎えたということで、付録的に手旗を入れてみました。芯棒はご用意いただくようになりますが、これから臨時列車も増えますので、ぜひ作ってみて、都合が付けば只見駅で振っていただければと思います。

▽田植も終わり、深緑も進み、青空と緑のコントラストがキレイな季節になってきました。プールや川遊びのシーズンも間もなくですね。

(小林)

あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

朝日公民館 図書紹介

朝日公民館図書室
☎84-2111

おすすめ新着図書

★C線上のアリア

【著】湊かなえ (朝日新聞出版)



育った家がおみ屋敷となり果て、久しぶりに戻った美佐。家を片づけていく過程で金庫を発見する。そこからひもとかれる、家族にさえ言えなかった叔母の秘密とは……。朝日新聞連載時から話題！湊かなえが新たに挑む、先が読めない「介護ミステリ」。

★遊園地ぐるぐるめ

【著】青山美智子／田中達也 (ポプラ社)



今まで見たことのない！ 最高に幸せなコラボレーション連作短編小説。

青山美智子さん作品の装丁を数多く手掛け田中達也さんのアート作品。今回は「田中さんの作品を見て青山さんが物語を執筆し、その物語を読んで田中さんがさらにアートを作成する」という、楽しさに満ちた小説です。

○朝日公民館ではリクエストを随時受付しています。
読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。





ただみ・ ブナと川のミュージアムで木工体験

只見町ブナセンターが管理・運営するただみ・ブナと川のミュージアムは、只見町の自然環境・野生動植物、それらを利活用してきた人の暮らしを展示・紹介する博物館施設です。館内見学には入館料が必要ですが（ただし、只見町内の小・中・高校の児童・生徒の入館料は無料）、休憩室は無料で利用いただけます。

休憩室には図書コーナーが設けられ、只見町に関する書籍のほか、自然や人の暮らしに関する専門書、一般書籍、児童書が多数そろえられています。

また、木工クラフトコーナーも設けられ、木工体験をしていただくことが可能です。「木工クラフト」（料金300円/人）は、町内産の木材、木の実、葉っぱなどを自由に組み合わせて、自分だけのオブジェを作ることができます。「ただみ・ブナの森のかげらクラフトキット」（料金400円/個）は、間伐された町内産のブナ材のかげらを選び、サンドペーパーで形を整え、オリジナルのストラップを作ることができます。お土産にも最適です。

休憩室だけのご利用も歓迎いたしますので、ただみ・ブナと川のミュージアムへぜひお越しください。



▲只見高校生が作った木工クラフトのオブジェ



▲ブナの森のかげらストラップ

只見町ブナセンターからのお知らせ

6月は下記イベントを開催／企画しております。観察会の申し込みなど詳細は只見町ブナセンター（電話0241-72-8355）までお問い合わせください。

■企画展「ブナ林の木に生かされる 雪国のブナを極めるⅡ」

会期：2024年11月9日(土)～2025年6月30日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

■自然観察会「夏のブナ林観察会」

開催日時：令和7年6月28日(土) 13:30～16:00

観察場所：学びの森（梁取）、集合場所：明和公民館駐車場

ようこそ！ただみへ



また来て！ただみへ

